

# Support Our Kids 通信 Vol.1

2017年12月発行 発行・編集 HABATAKI東京

今年は33名の子ども達が世界へ羽ばたき、多くの気づき・発見・学びを得ました。彼らは仲間との絆、現地の方々の温もり、支援者の方々の応援を胸に、これからの東北、日本を引っ張る力強いリーダーになっていくことでしょう。



Team IRELAND



Team CANADA



Team AUSTRALIA



Team FRANCE



Team NEW ZEALAND



私はホストファミリーの優しさに毎日感動していました。少し前まではお互い知らない人同士で、私は何もしてあげられてないのに、どうして無条件でこんなに優しくしてくれるのだろうと驚きました。この大きな優しさに触れ、とても温かい気持ちになりました。そして、私も誰にでも無条件の優しさを与えられる人になりたい、と思いました。今後の生活では思いやりを持って他人に接し、今度は私がたくさんの人に幸せを届けたいです。些細なことでも行動に移していこうと思います。この気持ちを忘れず、新しく見つけた人生目標を達成し、恩返しをしていきたいです。本当にありがとうございました。アイルランド組 高橋 ころ

今まで震災について深く考えていなかった。しかしSTAND UP SUMMIT2016に参加し、東北の学生が自ら行動する姿を見て、自分も震災と向きあい、SOKのOBOGのように自ら輝ける若者になりたいと思った。カナダで過ごした2週間は毎日が新鮮で、様々な人に出会い、様々な経験をし、様々な感情を抱いた。言語の壁という不安もあったが、それはそんなに高い壁ではなく、自分のことを知ってもらい、相手のことを知ろうとすることが大事だと学んだ。このカナダで学んだ相手の気持ちを大事にして日本でも仲間を増やし、その仲間達と共に、次は支援する側に回って、より若い人たちに素敵な経験をさせたいと強く考えている。

カナダ組 金山 侑真



## HOME STAY PROGRAM 2017



このプログラムに参加して日が経つにつれ、私はあることに気がつきました。ここでは自分の意思をはっきりと言うことができる。ということは、自分の意志に逆らわずに行動できるのだ、と。私は今まで周りの目を気にして、自分がやりたいことをできずにいました。それが、ここではそういうことが何もない。やりたいと思ったら迷わずにできる。自分がその空間にいることが嬉しく感じました。そして他のメンバーの何ごとにも挑戦する姿を見て、自分も挑戦して良いんだ、と思えるようになったのです。自分から現地の方々と繋がりたいと思って行動したからこそ、今回のプログラムが私の中でより大きなものとなり、現地の方々の存在も私の中に深く刻まれたのでしょ。オーストラリア組 杉田 春風

ル・マンでのレース中に多くのご支援者の方々に出会いました。そこで気付いたことがあります。Support Our Kids「ひとりじゃないよ」の意味です。渡航前は「ひとりじゃないよ」=震災を抱え込んでいるのは一人ではなく、東北の子ども達、つまり一緒に渡仏するメンバーのことを指しているのだと思っていました。しかし、滞在中にその意味に加えて、一人でここまで来たのではなく、多くの人にサポートがあってだということを改めて感じ、「楽しい」だけでは終わらせないぞ、と1日1日を振り返ることができました。だからこそ、これから何としてでも恩返しをしたい。今後は「HABATAKI」にも参加をして、苦手なことにも挑戦したいです。

フランス組 石島 雫



ニュージーランドでの経験から、毎日をなんとなく受け身な態度、気持ちで送るのではなく、一日をこうしたい、とか、ああしたいという希望を持って、それを一つ一つ実現させながら送ることで毎日に重みが生まれることが分かりました。その積み重ねが人生の豊かさにも繋がると思うので、一日一日を大切にしたいです。そして自分にとってハッピーな選択をして、周りに流されないで「自分」を大切にしたいと思います。私達は、東北の未来を創ることを期待され海外に送り出してもらいました。そのための本番はここからだと思えます。これからも応援してくれる人が沢山いることを忘れず、感謝の気持ちを持って恩返しができるよう努力していきます。

ニュージーランド組 吉田 雪希

# AFTER HOMESTAY PROGRAM

- LIFE-CHANGING EXPERIENCE 人生を変える経験 -

## 半澤 悠音 (FRA2013)

フランス・ルマンで初めてモータースポーツの世界を感じ、レースドライバー1人では完走できないことを知り、自分の仕事に情熱と誇りを持って働くエンジニアの姿に感動と憧れを抱きました。その経験から夢を与えてくれるきっかけとなったマツダ㈱に今年入社し、憧れのエンジニアを目指して地元福島から離れて広島におります。いつも応援して下さる皆様への感謝の気持ちを忘れず、恩返しとして活躍する姿を見ていただきたいです。



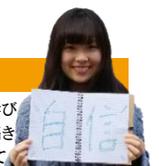
## 秀岳 卓哉 (US2016)

「積極的に生きる。」そんな生き方を教えてくれたのは、間違ひなくSOKでした。アメリカでの時間は、挑戦を恐れていた自分に力を与え、行動しなければ相手に気持ち伝わらないことを教えてくれました。たくさんのものをもらったからこそ、今度は自分達が動かなければならない、と恩返しの精神でSOKの活動に参加しています。将来の夢に向け、まずは大学受験。過去の失敗も経験だと前向きに捉え、未来に向け今を一生懸命生きていきます。



## 松田 彬恵 (FRA2014)

SOKでは、諦めないことの大切さを学びました。その後、それまでの私なら「届きそうにないから無理」と初めから諦めていたようなことにも挑戦しました。正直、限られた時間、お金の中で叶えることのできなかった目標もありましたが、目標に向かって一步一步頑張った経験こそが今の私の自身になっています。全てのきっかけを与えてくれたSOKにとっても感謝しています。



## アルアリアシーらみ亜 (US2014)

SOKとの出会いで、様々な考え、生き方を知ることができました。出会う前は、流されるように、周りと同じように過ごしてきましたがSOKのみんなと出会う、個々の強い意志、十人十色の考えを知り、とても刺激を受けました。この出会いで今、私は『You Only Live Once』をモットーに自分の夢に向かって自分らしい生活をしています！大好きSOK！



## 櫻井 千聡 (NZ2016)

自分を変えたいと強く願う人が集う場所、それがSOKだと思います。SOKに参加して何が変わった、とよく聞かれますが、一言ではとても言い尽くせません。私の場合、常に前向きで熱意のある同年代OBOGの姿を見ることで自分の未熟さに気付かせられ、変わりたいという強い衝動に駆られました。自分と何度もぶつかって気持ちが沈むことがありますが、お互いを励まし合い、高め、認め合う空間がSOKにはあります。そのような環境、きっかけをくださった支援者の方々に感謝しています。



## 白井 森隆 (UK2012)

SOKが僕にくれたのは、沢山の機会だった。人との出会い、考えを共有する機会。どれだけの想いで支援者の方々が、親が、僕たちに期待し応援してくれているか考える機会。そこからどう考えて行動するかは、自分自身にかかっている。僕は留学生のための被災地ツアーを企画したり、留学したり、頂いたチャンスを次に繋げるために思う存分生きてきた。一歩踏み出す勇気をSOKは僕にくれた。



## 米山 結衣 (US2013)

人生を180度変えてくれたSOKとの出会いが『福島、東北、日本の未来は私達が担う』と勇気を与えてくれました。共に歩みを進められる力強い仲間を誇りに思い、日本と世界の架け橋になるべく、大学卒業後はアメリカで日本について海外の人に伝えることができます。一人でも多くの方が、東北や日本に興味を持ち、足を運んでくれるよう、周りがあるチャンスを逃さず毎日が真剣勝負！と思い精進します。



## 澤田 悠希 (US2014)

出会いの素晴らしさを実感しました。全く違う境遇の人と出会い、そしてそこで出会える人は自分が持っていない能力を持っていたり、価値観を持っている人達、そして会うたびに成長し進化している人ばかり。そんな人達に再会するとまた自分も成長し進化するような刺激を与えてくれます。そんな出会いを与えてくれたのがSOKです。今は中学校の先生になろうと頑張っています！



## 奥山 瑠璃 (US2012)

SOKとの出会いを通して、できるできないいかではなく、自分がやりたいと思った気持ちを大切にできるよになり、諦めないことがどれだけ重要であるかということに気がつくことができました。また、会った仲間と、どんな場所においても心から応援でき、支え合える関係を築くことができたことは私の人生の大きな財産だと思っています。



## 東北×ネパール 復興の輪プロジェクト Presented by HABATAKI

「頂いた恩を今困っている誰かに送りたい」「復興について若者同士で本気で考えたい」そんな思いで動き出した恩送りプロジェクト「HABATAKI」。SOKのOBOGで構成される私たちHABATAKIの思いは、ネパール地震、熊本地震で被災した同世代へ、「自分達と同じように、被災した同世代を東北に招待しよう。共に復興について考えたい。」岩手、宮城、福島、関東、、、想いの輪は拡がり、各地で募金活動を実施しました。募金活動中、多くの方から激励の言葉を頂き、勇気づけられました。同時に、私達のホームステイプログラム実施にあたり、教えきれない方からご寄付を通して、温かい想いを寄せて頂いていたことを改めて実感しました。2016年3月、ネパール大地震で被災した学生3名と引率者1名を宮城県南三陸町へ招待。最終日、ネパールの高校生は私たちにこんな言葉を残してくれました。「こんなに愛を感じたことは生まれて初めてです。HABATAKIは私の家族です。」また、この活動にサポート役として参加したSOKの後輩は「自分達も復興の輪を広げ、日本の未来を担う同じ仲間の力になりたい。」と、熊本地震の復興支援をスタート。熊本にも足を運び、自分達にできる復興支援とは何か、仲間と模索しながら、プロジェクト成功へ向け、準備を進めました。そして2016年8月、熊本地震で被災した学生5名と引率者1名を福島県いわき市に招待。プロジェクトを終え、参加した学生から「以前は人任せで他人から言われるまで行動しなかった。でもこのプロジェクトに参加して誰かに頼っていても何も変わらない、自分達で行動しなくては行けない、と思うようになった。」という心情の変化が聞かれました。また、この復興の輪を絶えず次に繋げるべく、熊本プロジェクトは今年も実施されました。新たなSOKの仲間もプロジェクトに参加し、それぞれが考える復興支援のあり方を話し合い、8月に熊本から6名の学生を宮城県の女川町に招待し、復興と若者がどう関わっていくか話し合いました。この復興の輪プロジェクトを通し、人と人との心の繋がりが、国境なんてないことを実感しました。共に笑い、涙した日々は生涯輝き続けるでしょう。この復興の輪は今後更に広がります。

写真：2016年3月、南三陸の日の出に復興を誓うHABATAKIメンバーとネパールの高校生

## 秋沢志篤を偲ぶ Farewell Charity Party

2017年9月、74歳でこの世を去った SOKの創始者である 故・秋沢志篤さん。故人を偲ぶ会が11月14日、東京の八芳園にて執り行われました。会場には多くの方が集まり、故人への想いを寄せました。東北の子ども達に「明日への希望」「前を向いて進む勇気」「夢を追い続ける挑戦心」...他にも数え切れない程、大きな力を与えてくださった秋沢さんに感謝を伝えるべく、SOKのOBOGも会場に集結。故人の意志を引き継ぎ、繋いでいくことこそが私たちの使命だと改めて感じたと同時に、秋沢さんから頂いた力を絶えず持ち続けていこう、と誓いました。



秋沢さんの回顧展では、SOKに関連するアイテムを展示しました。



SOKのOBOGとボビー・ブレナンタインさん、寺田陽次郎さん。



最後にはSupport Our KidsのOBOGが登壇、決意表明を行いました。



元読売巨人軍監督 原 辰徳さん



内閣総理大臣夫人 安倍 昭恵さん



農林水産大臣 齋藤 健さん



歌手 平原 綾香さん



オペラ歌手 ジョン・健・ヌツツオさん

BRIDGE TO THE FUTURE



# ACTIVITY REPORT 2017

## SOK チャリティイベント一覧

- |                                  |                                    |
|----------------------------------|------------------------------------|
| 1月 第3回平原綾香 Jupiter基金             | 5月 第二回伏見博明殿下杯チャリティボウリング大会          |
| 3月 第7回チャリティーオークションディナー           | 8月 STAND UP SUMMIT 2017            |
| 3月 エメラルド・ボール東京                   | 11月 Rugby Charity Day              |
| 3月 I LOVE IRELAND FESTIVAL       | 11月 秋沢志篤を偲ぶ Farewell Charity Party |
| 5月 RICHIE MACCAW Charity for All | 11月 リユニオン～翔～                       |

### ◆ 秋沢志篤を偲ぶ Farewell Charity Party



#### 伝えきれない ありがとうを

6年前、浅田香葉さんは宮城県石巻市で被災しました。震災という暗闇から彼女を救ったのは、今年9月74歳でこの世を去ったSOKの創始者でもある 故・秋沢志篤さんでした。そんな浅田さんが当時の思いを振り返りながらSOKについて語りました。

— 当時、まだまだ大変なことが続く中で自分がNZに行っているのか、悩みましたが、「今、自分が生き残っているのだから、行ってみよう」と、軽い気持ちでプログラム参加を決めました。軽い気持ちで行ったものの、NZで過ごした3週間は本当に私の世界をかぎりど変えました。そして今その時の活動が、私の、そして参加した大勢の子ども達の背中を押してくれる風になっています。今後さらにキラキラした夢を持った子ども達が増えると思う秋沢さんにはありがとうという言葉が伝え切れません。私もさらに多くの子ども達が海外に行けるよう頑張らなくてはなりません。そして、もし願いが叶うのであれば皆さんからもっと子ども達を応援してくれる力を頂きたいです。秋沢さん、たまにでいいから子ども達のこと見に来てください。私たちも楽しく輝いていられるよう頑張ります。

写真:OBOG代表としてメモリアルスピーチをする浅田さん

### ◆ リユニオン～翔～ わたしの夢



#### 夢を憧れで終わらせない

昨年のアメリカホームステイプログラムに参加した宮城県仙台市に住む高校3年生の及川徳乃さん。TVで日本の職人が減少している事実を知り、「これは自分が守らなくてはいけない！」と和菓子職人を志したが、SOK参加前は夢を語ることを恐れていたという彼女。参加後、夢に対する想いがどう変わったのでしょうか。自分の夢への情熱を感じる、後輩への力強いメッセージでした。

— SOKに入り、面接の時に初めて夢について深く伝えました。そして、目標のある仲間との出会いで、「和菓子職人になりたい！」と人に伝えていんだ、改めて気付くことができました。参加後は夢への想いが一層強くなり、求人をとっていない和菓子屋に自分でお願ひし、チャンスを掴むことができました。来年からは京都での修行が始まりますが、私の更なる野望は「和菓子を通して東北を伝えること」「WAGASHI」を世界共通語にすることです。この経験から後輩へ伝えたいこと、それは夢を憧れで終わらせないことです。言ってるだけでなく行動に移すことで初めて現実味が帯びてきます。まずはやってみる。それが夢へ近づくと一歩だと思えます。

写真:第2部にて自身の夢について熱く語る及川さん



平原綾香さんのJupiter基金の収益をご寄付して頂きました。歌手を目指す佐藤玲花さん(右)が代表で受領。



アイルランド組のOGが集合。I LOVE IRELAND FESTIVALに参加し、アイルランドを盛り上げました。



NZより来日したリッチー氏の各種イベントではSOKのOBOGがボランティアとして積極的に参加していました。



SOK実行委員会の会長、アン・バリン頓駐日アイルランド大使と共にリユニオンの記念写真。各国素晴らしいプレゼンをしていました。

## SOK OBOG 活動一覧

- |                              |                               |
|------------------------------|-------------------------------|
| 6月 夏だ! Support Our BBQ in 松島 | 8月 東北×熊本 復興の輪プロジェクト           |
| 8月 SOK事務局 インターンシップ研修         | 10月 秋だ! Support Our 芋煮会 in 仙台 |

### OBOGの交流の場!

#### Support Our BBQ & 芋煮会

ホームステイから帰国後グループの垣根を越えOBOGの輪を広げたいという想いから年に数回BBQや東北ならではの芋煮会などを開催しています。本年度はBBQに48名、初開催の芋煮会に19名が参加してくださいました。会の中では参加者同士が仲良くなれるようなレクリエーションをしたり、一緒に食事をしながら訪れた国での話、夢など沢山のことを共有し、新しい仲間を作ることができます。歳の離れたOBOGと仲良くなるチャンス! 来年度も随時開催していきますので皆様のご参加をお待ちしております。またイベントを盛り上げるのに我こそは! という方はぜひ企画メンバーへ! —鈴木 麻莉子(US2013)



### 復興に対する思いを熱く!

#### STAND UP SUMMIT

毎年夏に東京ビッグサイトで開かれ、東北地域のみならず、関東や海外の学生がこれからの復興について意見を交わす、「STAND UP SUMMIT」午前中はセッションごとにわかれ、考えを共有し、話し合い、それらを発表。SOKのOBOGから成るHABATAKIもセッションを担当しました。午後はOGの秋山裕乙さんが司会を務め、ステージにてゲストを迎えたトークショー、そして復興ディスカッションが行われました。また、今年度よりスタンアップフェスティバルも夜間に開催。とても充実したプログラム内容となりました。



### イベント成功までの道のりを体験!

#### 事務局インターンシップ

私は2週間、事務局でインターンシップをさせて頂きました。業務内容としては、ホームステイ事前事後研修サポート、SUS報告書作成、支援企業訪問を体験しました。撮影技術や編集技術など様々な知識を得ることができたのはもちろんですが、それ以上に大切なことを学べました。団体が今に至るまでの道のり、支援して頂いている方々の想いを知り、自分が事務局でインターンシップしたことの意味を考えさせられました。この経験を通して、人や組織の繋がりの意味、大切さを知ることができ、とても充実した2週間でした。根底には人と人との繋がりがあるといことを忘れずに、これからも活動していきます。ありがとうございました。—佐藤 章哉(P/SW2015)



### 今後の予定

## 第8回 チャリティーオークションディナー



第7回チャリティーオークションにて支援者の方々とボランティア参加のOBOG

2018. 3.12 (月)  
場所:八芳園

皆様の参加をお待ちしております。

### HABATAKI 東京

## SOK事務局アルバイト

大学進学のため上京してきたOBOGが現在SOKの事務局でアルバイトをしています。日々、他のアルバイトでは感じることのできない刺激を受けさせて頂いています。特に夏のホームステイのお手伝いは子ども達の変化に感動を隠せませんでした。そしてこのSOK通信は4人体制になって、初めての共同作業です。協力しながら、一人でも多くの方に読んで頂きたいという想いで作成しました。たくさんのSOK愛と感謝がこもっています。楽しんでいただければ幸いです。

秋山裕乙/米山結衣/鈴木麻莉子/佐藤幹尚



# 「Support Our Kids」発起人会

- 青島 俊徳 (タイムアウト in NZ 前役員)
- 森井 勝 (花人)
- 森本 弘高
- 林元 康 (作曲家)
- 淺野 秀則 (株式会社フォーシーズ 代表取締役社長 兼 CEO)
- 天井 次夫 (株式会社経営戦略合同事務所 代表取締役社長)
- 有森 裕子 (NPO法人・アトピア・ワールド 代表理事)
- アルランド・ボア (フィンランド・アトピア・ワールド 代表理事)
- アン・バルト (駐日イギリス大使館 特命全權大使)
- イアン・ケネディ (元駐日ニュージーランド大使館 特命全權大使・ニュージーランド政府 日本国関係特使)
- 石田 純哉 (株式会社ゴルフパートナー 代表取締役社長)
- 井田 義明 (VTV自動車株式会社 特別相談役)
- 伊藤 信一 (ANAエアライン・エクスプレス 代表取締役社長 取締役役員)
- 井上 彪 (三菱食品株式会社 代表取締役社長)
- 井上 弘 (株式会社東京放送ホールディングス 代表取締役役員)
- 岩崎 安利 (ビックホリデー株式会社 代表取締役社長)
- 宇佐美 三郎 (株式会社宇佐美源油 代表取締役社長)
- 尾家 正道 (フエデラル エクスプレス 北太平洋地域 担当部長)
- ウルス・ブール (前・駐日スイス大使館 特命全權大使)
- エド・オーバー (前・ニュージーランド航空 日本・韓国地区 支社長)
- 大崎 洋 (日本興業株式会社 代表取締役社長)
- 大里 洋吉 (株式会社ミュージアム 代表取締役役員)
- 大日向 由幸 (株式会社エスエスエー 代表取締役)
- 岡田 佑 (自衛隊交通團 代表取締役社長)
- 垣添 直也 (元・日本水産株式会社 代表取締役社長 執行役員)
- 加藤 功時 (国際ロータリー 第2750地区 東京芝ラオ・クラブ 2013-2014年度 会長)
- 鎌田 隆介 (株式会社コアエディ・ゴルフ 代表取締役社長)
- 河相 夫 (宮付式産官長)
- 河田 聡史 (SBIファーマ株式会社 代表取締役 執行役員COO)
- 河内 宏之 (株式会社アカデミー 代表取締役社長)
- 河村 守康 (株式会社虎ノ門実業会館 代表取締役)
- 北牧 裕幸 (株式会社キューブ 代表取締役社長)
- 島城 誠 (株式会社キューブ 代表取締役社長)
- 島岡 吉夫 (前・高松市 市長)
- クリスチャン・マセ (前・駐日フランス大使館 特命全權大使)
- 末南 宏二 (アゼリアグループ 理事長)
- 小園 文典 (株式会社協和エンゾオ 代表取締役社長)
- 野玉 守弘 (株式会社日音 相談役)
- 後藤 亘 (東京外科学アカデミー株式会社 代表取締役役員)
- 小林 哲也 (近畿日本鉄道株式会社 取締役社長)
- 小巻 亜矢 (NPO法人・ハロー・チーム 実行委員会 代表理事)
- 小宮山 哲 (野球評論家)
- サード・ピット・ウエリン (前・英国大使館 特命全權大使)
- 齋藤 真樹 (ニューヨーク 医師、腫瘍内科 感染症専門医)
- 三枝 成彰 (一般社団法人3.11震災復興文化・スポーツ支援機構 会長)
- 坂井 秀行 (DMG 日本 支社 パスプレジデント ビジネス・アドバイザー)
- 坂井 正光 (株式会社コロ 特別顧問)
- 近本 淳一 (松竹株式会社 代表取締役社長)
- 籠坂 建次郎 (マリンドライブ)
- 芝 幸太郎 (株One & Presence Holdings 代表取締役社長)
- 柴 俊夫 (一般社団法人 こどものための築基金 理事長、俳優)
- 渋谷 弘徳 (公益社団法人セーフ・ササチルドレン・ジャパン 理事)
- 藤田 亨 (実業株式会社 代表取締役社長 執行役員)
- ジャック・坂崎 (90 Plus Wine Club 代表)
- ジャン・ウォーカー (前・ニュージーランド政府観光局 PRエグゼクティブ)
- ジョン・コンロイ (前・ニュージーランド貿易経済進出庁 公使 日本・韓国地域局長)
- ジョン・ナルス (前・駐日米国大使館 特命全權大使)
- ジョン・カーワン (元・ラヴィー 日本代表ヘッドコーチ)
- ジョン・アトリー (前・駐日イギリス大使館 特命全權大使)
- ジョン・エディ (タイムアウト in NZ 設立者 テラスラウド リゾート マーケティング部長)
- ジョン・ハンデル (ピーアール・エディ・グループ 日本代表)
- 白石 康史 (前・海軍軍医)
- 白石 健生 (株式会社ベネフィットワン 代表取締役社長)
- 杉田 真志 (株式会社エスワイ・エス 代表取締役社長)
- 関 正樹 (前・四国商事株式会社 代表取締役社長)
- 高橋 利弘 (前・ニュージーランド大使)
- 和田 博己 (株式会社ジェンティール 代表取締役社長)
- 竹花 豊 (株式会社東京ビックサイト 代表取締役社長)
- 齋 ひろし (俳優)

- 田辺 善仁 (株式会社エフエム大阪 代表取締役社長)
- 五井 義臣 (あしなが育英会 会長)
- 田村 隆 (心霊写真師 三日目)
- 長谷 健志 (株式会社エイチ・エルシー 代表取締役)
- ツノリ・コザチエス (前・駐日ポーランド共和国大使)
- 塚原 光男 (有限会社塚原体操センター 代表)
- 辻 吉太郎 (株式会社サンリオ 代表取締役社長)
- 坪田 龍義 (グラフィカスター)
- ティーン・サトラ (アド・ネットワークス株式会社 代表取締役 兼 最高経営責任者)
- ティム・ウィリアムズ (ワイン・イン・スタイル株式会社 代表取締役)
- デボラ・ヘンダー (前・クレア・キャビン・アングラズ 日本マネージング・パートナー)
- 野田 陽次郎 (レニングトリアー)
- 野崎 光憲 (日本・フランス・ニュージーランド委員会 会長)
- ナオコ・ダラ・ヴァレ (ダラ・ヴァレ・ヴィンヤード オーナー)
- 鶴岡 英幸 (三菱商事株式会社 常任監査役)
- ニーマム・坂崎 (JSMコンサルティング株式会社 代表取締役)
- 新山 明夫 (仙台・ニュージーランド協会 会長)
- 西原 龍樹 (ニュー・グループ株式会社 代表取締役社長)
- 西山 広文 (株式会社読売情報 代表取締役社長)
- 野田 勝憲 (株式会社読売情報 代表取締役社長)
- 羽生 裕子 (カナルカフェ オーナー)
- 羽生 善治 (特撰撰士 二冠)
- 原 辰雄 (元・日本赤十字 前監督)
- 原田 真二 (ミュージシャン)
- 林 持 (前・ベルギー王国大使)
- 肥後 かおる (女子プロゴルファー)
- 日野 皓正 (ジャズ・フュージョン)
- 日野 輝 (公益社団法人・学際国際交流センター 理事長)
- 宮本 道臣 (株式会社エフエム東京 代表取締役役員)
- 福田 康夫 (第91代内閣総理大臣 日本・ニュージーランド議員連盟理事長)
- ダニエル 藤井 (アークストーン・グループ・ジャパン株式会社 代表取締役)
- ブルース・スローン (前・駐日オーストラリア大使館 特命全權大使)
- ブレイク・ヘンリー (前・駐日シンガポール大使館 特命全權大使)
- 古田 貴之 (千葉工業大学 未来ロボ・先端研究センター 所長)
- 本庄 竜介 (グリーンコープ株式会社 代表取締役)
- マーク・ケナリー (前・フォンテラジャパン株式会社 代表取締役社長)
- マーチン・シリア (前・駐日ニュージーランド大使館 特命全權大使)
- マク・ブレイク (前・ニュージーランド代表 オールブラックス)
- マイケル・ラッチ (エポ・ユニオン・キャピタルマネジメント 代表)
- 前田 伸 (日本電産株式会社 代表取締役)
- 松岡 安泰 (東宝東和株式会社 代表取締役)
- 松沢 成文 (参議院議員)
- 松本 正一 (株式会社松島 代表取締役社長)
- 松平 定知 (元NHKアナウンサー・京都府芸術大学 教授)
- 真藤 健一 (株式会社経営戦略合同事務所 代表取締役社長)
- マリ・クリスティア (異文化コミュニケーション 国連・パレット親善大使)
- 丸山 邦治 (株式会社丸山商店 代表取締役社長)
- ウラノ・カオロ (駐日サンマリノ共和国 特命全權大使)
- ミア・エヴァンズ (パン・コープ・ウェルスマネジメント・リミテッド ジェネラル・マネージャー)
- 村上 雅嗣 (元・メジャーリーガー)
- 森 浩光 (作曲家・作家、日本TBS音楽協会 最高顧問)
- 森川 由加里 (ミュージシャン)
- 森 浩生 (森ビル株式会社 取締役副社長 執行役員)
- 森 喜博 (第85代、第86代内閣総理大臣 日本ラグビーフットボール協会会長)
- ケリス・森崎 (ニューヨーク 日系人会 会長)
- 歌中 三十二 (外務省顧問)
- 山口 直樹 (株式会社アプロトグループ 代表取締役役員)
- ユゼン・チェン (セサフ インターナショナル ジャパン株式会社 代表取締役社長)
- 吉田 恒雄 (特定非営利活動法人 児童虐待防止全国ネットワーク 理事長)
- 吉田 康 (株式会社ブルボ 代表取締役社長)
- 吉野 伊佐吉 (日本興業株式会社 代表取締役役員)
- 吉野 正 (前・駐日オーストラリア大使館 代表)
- リュック・リバト (前・駐日ベルギー王国大使館 特命全權大使)
- ルート・ファン (エッセンシャルグループ 代表取締役社長)
- ロバート・ペレル (オーストラリア・ニュージーランド銀行 東京支店 CEO)
- 脇屋 友詞 (Wakuya 英美茶楼 オーナーシェフ)
- 和田 修一 (株式会社和田 代表取締役)

\*2017年11月 現在 (五十音順・敬称略)

## 協力・後援団体

- アイルランド大使館
- アリカ大使館
- イギリス大使館
- オーストラリア大使館
- カナダ大使館
- サンマリノ共和国大使館
- スイス大使館
- ニュージーランド大使館
- フランス大使館
- ベルギー王国大使館
- ポーランド共和国大使館
- キューバ大使館
- 復興庁
- 外務省
- 防衛省
- 首相官邸
- 日本赤十字社
- 経済同友会
- 90 Plus Wine Club
- ISISGreenwich
- IMJ
- 13 GIP JAPAN
- アング株式会社
- RHトラパーズ株式会社
- 赤井勝彦花の会
- 株式会社アカデミー
- 株式会社コアエディ・ゴルフ
- あしなが育英会
- アゼリアグループ
- アディダス・ジャパン
- ア・ネットワークス株式会社
- アトム通貨実行委員会仙台支部
- 株式会社アパマンショップホールディングス
- アフリカの花屋
- アリカクラブ
- アルパインツアーサービス株式会社
- ANZCO FOODS JAPAN LTD
- アダース東京
- ail
- イオン
- いしかわデザインセンター
- 株式会社泉屋東京店
- いそ路
- Itsumo
- 株式会社伊藤園
- 伊藤ハム株式会社
- 井原水産株式会社
- International Women's Club JAPAN
- 株式会社 インターブレイン
- 株式会社 インフィニティ
- 株式会社 ウル
- 株式会社 宇佐美源油
- 株式会社 ウェルネス
- ANZCCJ
- ACO
- エールフランス
- 株式会社 エイチ・ツー・オー
- 株式会社 エイ・コーポレーション
- Asia Matters
- SOK in Toronto
- 株式会社 SPE
- 株式会社 サド・イン・クリメント
- 株式会社 オールス
- OKANO株式会社 オフィスフォーティエイ
- 株式会社 オフィス
- オナオ計算機株式会社
- 株式会社 カタログハウス
- カナルカフェ
- 金丸歯科クリニック
- カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
- 株式会社 紀文食品
- 共立印刷株式会社
- 近畿日本鉄道株式会社
- クラブ・オーストラリア
- 株式会社 首本製作所
- クリン・コア株式会社
- 株式会社 クローブ
- 株式会社 経営戦略合同事務所
- 株式会社 コーセー
- 株式会社 KODENホルディングス
- 公益財団法人 国際親善協会
- 一般社団法人 こどものための築基金
- 株式会社 ゴルフパートナー
- 佐藤製菓株式会社
- 株式会社 サマタパサジャパンリミテッド
- サン・サトウ商事株式会社
- 3.11震災復興文化・スポーツ支援機構
- サンデー・ホールディングス株式会社
- サンリノ・酒類株式会社
- 株式会社 ジェブ
- シェルトン・都ホテル
- 株式会社 シムコス
- 七ヶ浜国際空港
- JSMコンサルティング株式会社
- 株式会社 ジャスコビ
- 株式会社 ジャパン・エフエムネットワーク
- ジャズボート
- JANZ

- JANZ Ladies
- 春風会
- 新企会
- 新機真会
- スズダ・ロッドフェラー
- スズインターナショナルエアライズ
- スイス情報.com
- スポーツ・オーリテ
- 公益社団法人 セーフ・ササチルドレン・ジャパン
- 閉野商事株式会社
- 仙台・ニュージーランド協会
- 日本空輸株式会社
- 医療法人社団 聖真会
- DARGAVILL.HIGHSCHOOL
- 株式会社 タイク
- タカタ株式会社
- 宝自動車交通株式会社
- 株式会社 竹中庭園緑化
- 株式会社 建築設計事務所
- 学校法人 千葉工業大学
- 株式会社 中央不動産鑑定所
- つぎちび田
- 株式会社 サブプロダクション
- TBS
- TBC 東北放送
- デルタ航空
- 株式会社 サンボアリモ
- アコム株式会社
- TOKYO FM
- TOKYO MX
- 東北福祉大学
- 東京航空計器株式会社
- 東京ガス株式会社
- 東京ドーム
- 株式会社 東京ドームホテル
- 株式会社 東京ビックサイト
- 東京プリンホテル
- 東宝神宝
- トヨタ自動車株式会社
- 株式会社 虎ノ門実業会館
- 有限会社 トリム・ロード
- 株式会社 ナカムラ
- 株式会社 ニュー・オータニ
- ニュー・日本ホテル
- ニュージーランド航空
- ニュージーランド政府観光局
- ニュージーランド貿易経済進出庁
- nz-navi.com
- ニューヨーク日系人会
- ニューヨークメロン銀行
- 株式会社 庭野企画プロモーション
- Bancorp Wealth Management Limited
- NPO法人 日本オリーブ・アカデミー
- 一般社団法人 日本自動車文化振興会
- 日本電産株式会社
- 認定NPO法人 日本パレット協会
- NPO法人 日本舞踊芸術文化協会
- 日本・ニュージーランドイイ株式会社
- ネオ・ローレル株式会社
- NEVER FORGET 東北
- ノーリツ鋼機株式会社
- 株式会社 八芳園
- ビックホリデー株式会社
- ピトリックス・ジャパン
- ファン・クルード・ワーククラブ
- フェデラル・エクスプレス
- フォネテラジャパン株式会社
- 株式会社 フランジュリー・エリック・カイザー・ジャパン
- 福岡地所株式会社
- 富士スピードウェイ株式会社
- 株式会社 フトウロ
- 株式会社 ブランク
- 株式会社 アルボ
- PACE Sports Management
- 株式会社 プレイン
- フロント・アット・マネジメント
- 北海道日本ハムファイターズ
- 関ヶ原設計株式会社
- 株式会社 ホリワ
- 株式会社 マイヤ
- MOUNT ALBERT GRAMMAR SCHOOL
- 有限会社 マックス・ベース & ステーション
- マツダ株式会社
- 株式会社 マルグループ・ホールディングス
- マンダリン・オリエンタル 東京 ミズ
- 三菱重工株式会社
- 三菱商事株式会社
- 三菱生命株式会社
- 株式会社 マツダデザインセンター
- マザービーク共和国大使館
- 鮎川 森下
- 森永製菓株式会社
- 森ビル株式会社
- 山崎元人軍 読売新聞社
- ライオン株式会社
- LINE
- 株式会社 フラットタ
- 公益財団法人 ラオ国際交流センター
- ラ・ロシェル
- Rotary Club of Toronto - Forest Hill
- Wakuyaグループ
- 一般社団法人 WAZA JAPAN
- 和田グループ
- ヒーローズエデュテイメント株式会社

その他多くの個人の皆様からご支援頂いております。

2017年8月 現在 (五十音順・敬称略)

ご支援・ご協力  
ありがとうございます

## Support Our Kids 事務局

〒102-0083 東京都千代田区麹町2-12-6 ミツリ麹町ビル3階 (特定非営利活動法人 次代の創造工房内)

TEL: 03-6272-6252 Email: sok@jidai.or.jp HP: <http://support-our-kids.org/> Facebook: <https://www.facebook.com/jidai.or.jp/>

Support Our KidsはYahoo!JAPANのご協力のもと、「Yahoo!ネット募金」を実施しております。  
各種クレジットカードによる決済のほか、Tポイント(TSUTAYA)を寄付に変えることが出来ます。  
寄付されたTポイントは、1ポイント=1円として換算され、Support Our Kidsプロジェクトへ寄付されます。  
寄付という形で、子ども達の未来を、東北の未来を一緒に支えて頂けますようお願い申し上げます。

HP: <https://donation.yahoo.co.jp/detail/5126001/>



ネット募金